

平成 2 1 年度 実施事業	<b>事務事業名</b> 老人福祉センター整備事業
-------------------	---------------------------

区分	番号	名 称
章	1	やさしさと共生するまち
節	3	誰もが安心して暮らせるまちをつくる
施策	2	高齢者福祉の確立
小分類	1	長寿社会の基盤づくり
主要な施策	1	高齢者の生きがいづくりの場と機会の充実
事務事業番号	011	事務事業コード 13211011 事業開始年度 平成 2 1 年度 事業終了年度 平成 2 1 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	老人福祉センター整備事業
------	------	------------	--------------

部 名	保健福祉部	グループ名	社会福祉 G
-----	-------	-------	--------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

対象	(何を対象にまたは誰を対象にした事務事業なのかを具体的に記載ください) 登別市老人福祉センター
手 段 ( 事 業 の 内 容 ・ 活 動 )	(目指す姿を実現するためにどのような手法で行うのか、事業の内容を具体的に記載ください) 老人福祉センター内外の傷みの激しい箇所の改修  主な改修箇所 ・ 娯楽室、便所、屋根
目 指 す 姿 ( 成 果 )	(事務事業を実施することでどのような状態にしたいのか具体的に記載ください) 改修工事を行うことにより、利用者が快適に安心して利用することのできる施設づくり。
根 拠 法 令 等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載ください)

指標の推移

区 分		単 位	区 分	21年度 実 績	22年度 目 標	23年度 目 標	24年度 目 標	25年度 目 標
成果 指標	老人福祉センター（娯楽室、便所、屋根）改修工事	式	目標値	1	0	0	0	0
			実績値	1				
			目標値					
			実績値					

## 事業費の推移

区 分			単位	21年度 決算	22年度 当初予算	23年度 見込	24年度 見込	25年度 見込	23～25年度 合計
事業 の 財 源 内 訳	国庫支出金	名称 地域活性化・生活対策臨時交付金	千円	6,604					0
	道支出金	名称	千円						0
	地方債	名称	千円	8,400					0
	その他	名称	千円						0
	一般財源	名称	千円	0	0	0	0	0	0
合 計				15,004	0	0	0	0	0
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費			職 員	千円	793	831			
			嘱 託 員	千円	0	0			
			臨時職員	千円	0	0			
			合 計		793	831			

## 担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について				
今後も市が事業 主体として実施 していくことは 妥当ですか？	→	妥当である  妥当ではない	→	妥当である理 由、妥当ではな い理由は何です か？  老人福祉センターは、登別市老人クラブ連 合会の事務局もあり、市内の高齢者の交流の場と なっており、補助は妥当である。
2. 事務事業の成果について				
成果はあがって いますか？	→	成果があがっている  どちらかといえばあ がっている  成果があがらない	→	成果があがって いる理由、あが らない理由はな んですか？  改修工事により、快適に安心して利用されて いる。
3. 事務事業の成果向上について				
成果を向上させ ることはできま すか？	→	大きく向上させるこ とができる  少し向上させるこ とができる  向上させることはで きない	→	どのようにして 向上させます か？ 向上させること ができない理由 は何ですか？  施設が改修され、多くの市民に利用が見込め る。
4. 事務事業の経済性・効率性について				
成果を落とさず にコスト（予算 や人工、所要時 間）を削減する ことはできます か？	→	削減できる  削減できない	→	どのような方法 でコストを削減 しますか？ 削減できない理 由はなんです か？  改修工事は、民間業者に依頼し入札で業者を 決定しており、よりコストのかからない金額で 行っているため削減は難しい。

## 担当グループによる評価

終了	左記の評価 を選択した 具体的な理 由（根拠）	改修予定箇所の工事が終了したため。
----	----------------------------------	-------------------

## 総合的な評価（当該事務事業の方向性）

終了	備考
----	----

### 評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）